

# 福岡県職業能力開発審議会 資料

福岡県福祉労働部労働局職業能力開発課

令和7年3月25日



# 目 次

- 1 職業能力開発の推進について . . . . . 2
- 2 大牟田高等技術専門校の建替えについて . . . . . 13
- 3 高等技術専門校（技専校）の稼働率向上に向けて . . . 16
- 4 第11次福岡県職業能力開発計画の実施状況について . . . 19
- 5 職業能力開発施策の課題について . . . . . 21



# 職業能力開発の推進について



# 1 本県の職業能力開発推進体制



○ 福祉労働部労働局職業能力開発課

- ・ 管理係
- ・ 公共訓練係
- ・ 技能振興係

○ 高等技術専門校（県立県営7校）

○ 障害者職業能力開発校（国立県営1校）

※各施設の訓練科目と入校定員を記載

① 福岡高等技術専門校



自動車整備, プログラム設計,  
総合印刷システム, 空調設備,  
電気設備, 建築,  
溶接技術,  
デジタルエンジニアリング,  
APLサービス  
計210人

⑤ 田川高等技術専門校



OA事務, 電気工事,  
自動車整備,  
木工家具,  
エクステリア左官  
計130人

② 戸畑高等技術専門校



3D-CAD機械システム,  
溶接, 介護サービス  
計90人

⑥ 久留米高等技術専門校



ものづくりXPプログラム,  
自動車整備, 建築,  
介護サービス  
計100人

③ 小倉高等技術専門校



OA事務, エクステリア左官,  
建築, APLサービス  
計90人

⑦ 大牟田高等技術専門校



電気設備, OA事務,  
ITエンジニア,  
溶接技術  
計80人

④ 小竹高等技術専門校

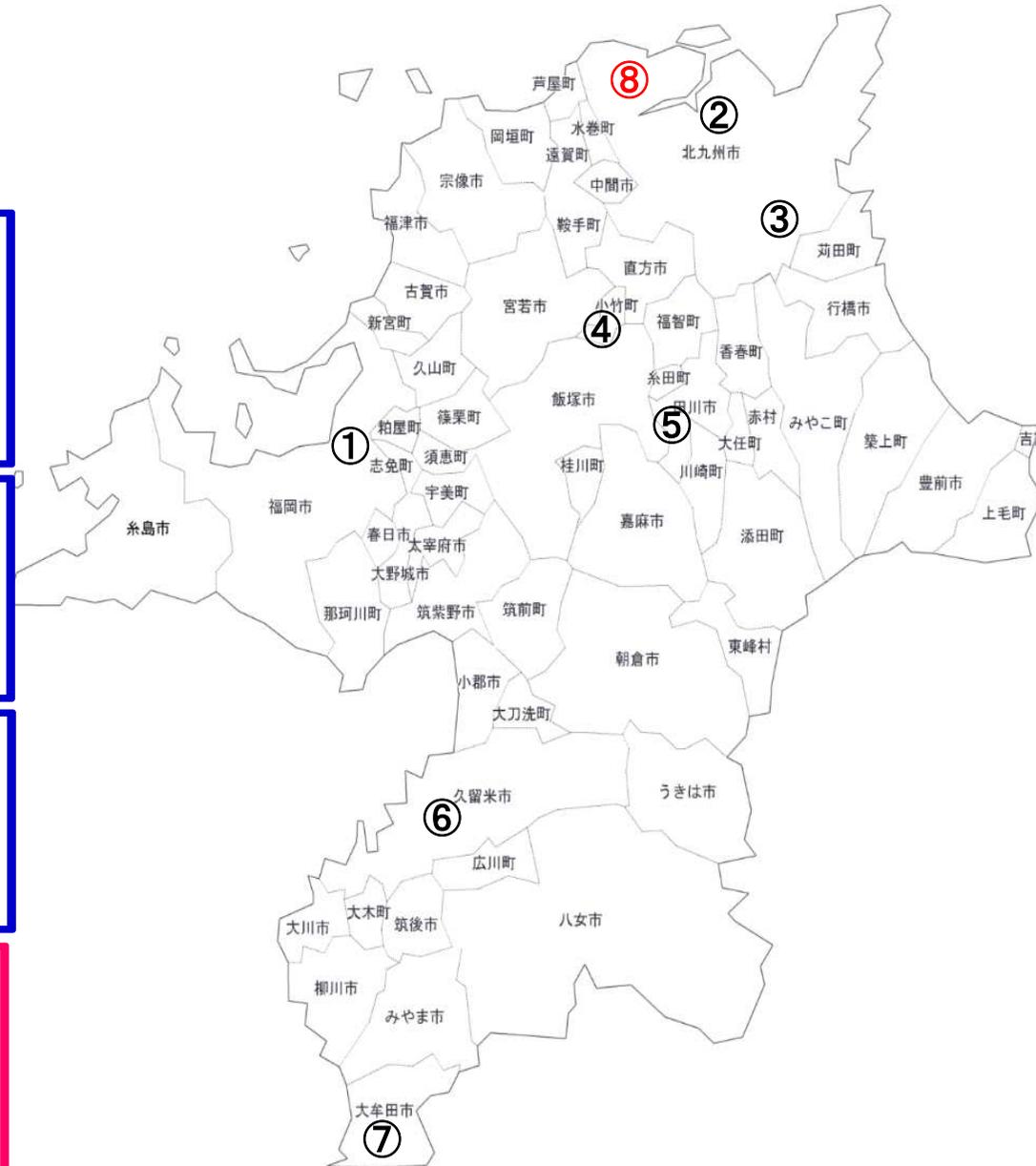


プログラム設計,  
自動車整備,  
機械加工エンジニア,  
建築, デザイン塗装,  
介護サービス  
計130人

⑧ 福岡障害者職業能力開発校



3D-CAD, プログラム設計,  
商業デザイン, OA事務,  
流通ビジネス, 総合実務,  
職業開発  
計145人





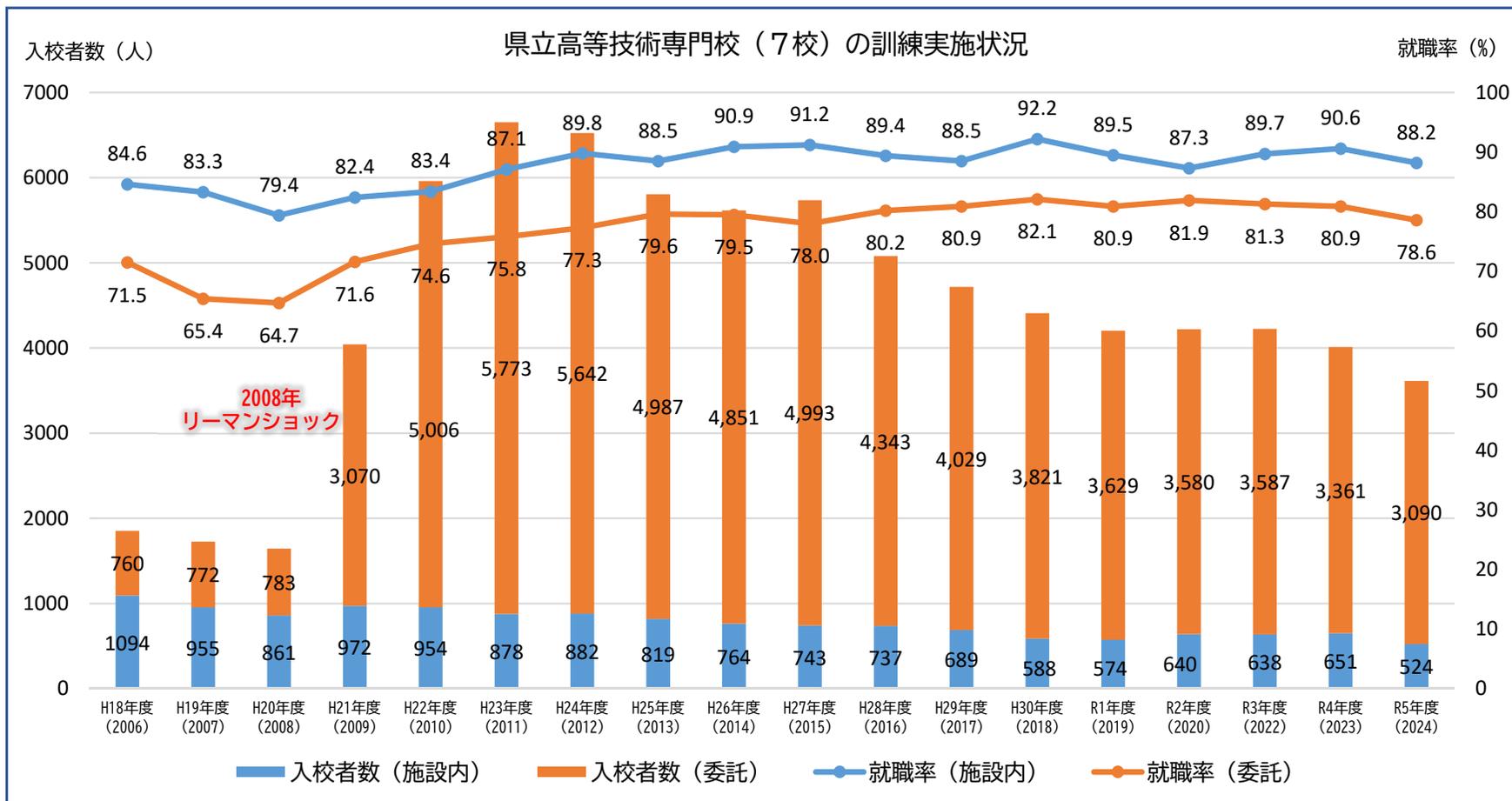
## 2 本県の公共職業訓練の実施状況

### ○ 施設内訓練

県が直接管理運営する高等技術専門校では、主にものづくり分野を中心とした科目を設定し、県の産業政策と一体となって雇用の創出や安定に向けた取組みを実施。

### ○ 委託訓練

多様な求人ニーズに対応するため、民間教育訓練機関を活用したオフィスワーク系科目を中心とした委託訓練を実施。



- 令和5年度の入校者は、施設内訓練と委託訓練を合わせて3,614人となっており、近年の雇用情勢の回復を受け訓練受講者が減少傾向にある。
- 就職率は、施設内訓練は90%前後、委託訓練は80%前後で推移。

### 3 高等技術専門校における職業訓練



#### (1) 高等技術専門校における施設内訓練

① 令和6年度の実施状況 (R6.4~12月) (※R5年度充足率はR5.4~12月、就職率は年度計)

(単位：人)

分野	計画コース数	計画定員数	開講コース数	開講定員数	応募者数	応募率	受講者数	充足率	R5 充足率	R5 就職率
IT分野	3	60	3	60	74	123.3%	51	85.0%	100.0%	90.2%
営業・販売・事務分野	3	60	3	60	49	81.7%	45	75.0%	66.7%	81.3%
介護・医療・福祉分野	3	90	3	90	79	87.8%	74	82.2%	82.2%	94.3%
製造分野	14	240	14	240	116	48.3%	103	42.9%	48.8%	87.3%
建設関連分野	11	270	11	270	193	71.5%	175	64.8%	58.9%	83.1%
その他分野	5	110	5	110	74	67.3%	69	62.7%	61.8%	98.3%
合計	39	830	39	830	585	70.5%	517	62.3%	62.4%	88.2%

- ・今年度 (R6.12月まで) の合計の応募者数は585人となっており、昨年度 (R5.12月まで) と比べ52人減となった。受講者数は、今年度517人となっており、昨年度と比べ7人減となった。
- ・IT分野、製造分野で応募者数、受講者数ともに昨年度から減となり、営業・販売・事務分野、建設関連分野では応募者数、受講者数ともに昨年度から増となった。
- ・IT分野の今年度の応募者数は74人となっており、昨年度と比べ30人減、応募率は123.3%であるが、昨年度と比べ50ポイント減となった。受講者数は今年度51人となっており、昨年度と比べ9人減、充足率は今年度85.0%となっており、昨年度と比べ15ポイント減となった。
- ・製造分野の今年度の応募者数は116人となっており、昨年度と比べ32人減、応募率が48.3%となっており、昨年度と比べ13.4ポイント減となった。受講者数は今年度103人となっており、昨年度と比べ14人減、充足率は42.9%となっており、昨年度と比べ5.9ポイント減となった。
- ・昨年度の就職率は、前年度から2.4ポイント減の88.2%で、目標の91%を2.8ポイント下回った。



## ② 施設内訓練における主な取組み

### 成長産業分野等の人材育成

#### ○ オーダーメイド訓練の実施

半導体関連企業等の即戦力として活躍できる人材を育成するため、技専校の機械系科目に在籍する訓練生に対し、企業の現場で最新の機械装置の操作技術を習得する企業実習型のオーダーメイド訓練を実施。

#### オーダーメイド訓練実績

※就職者数は、半導体関連企業への就職者数

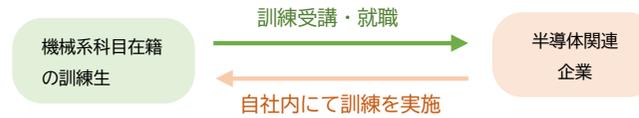
年度	訓練対象者数	訓練実施者数	就職者数※
R5	40	8	2
R6	34	22	8



5軸加工マシニングセンタ



ターニングセンタ（複合加工機）



#### ○ 電動車（EV、FCV）整備技術の習得

自動車整備科に電動車（EV、FCV）を配備し、モーターや発電システムの構造を学ぶカリキュラムを実施。

また、令和6年10月から開始された新たな車検制度（OBD検査）にも対応できるよう車載カメラやレーダーの診断機を整備。



実習車両（左からFCV、EV、HV）



OBD検査：クルマの電子装置の故障を見つける検査（国交省HPより）



### 特別な配慮を要する訓練生への対応

#### ○ 精神保健福祉士（PSWの配置）

精神障がいや発達障がいのある（疑いのある）訓練生に適切に対応する必要があることから、精神保健福祉士（PSW）を3名配置し、7校の巡回相談を実施。

相談実績 ※その他は、障害者就業・生活支援センター等

(R6は、R7.1月末時点)

年度	相談件数	相談者の内訳		
		訓練生	指導員	その他※
R4	1,338件	154件	1,017件	167件
R5	1,523件	122件	1,059件	342件
R6	1,172件	29件	642件	501件



### 3 高等技術専門校における職業訓練

#### (2) 民間教育訓練機関等を活用した委託訓練

離転職者等に対する職業訓練を迅速かつ効果的に行うため、主として知識を習得するために行われるものについて、民間教育訓練機関等に委託して実施。

【令和6年度実施状況（R6.4～12月）】（※R5年度充足率はR5.4～12月、就職率は、年度計）

（単位：人）

分野	計画コース数	計画定員数	開講コース数	開講定員数	応募者数	応募率	受講者数	充足率	R5 充足率	R5 就職率
IT分野	14	355	14	345	317	91.9%	286	82.9%	89.0%	80.1%
営業・販売・事務分野	62	1,655	58	1,560	1,468	94.1%	1,181	75.7%	79.4%	81.0%
医療事務分野	16	365	13	300	255	85.0%	220	73.3%	73.0%	82.8%
介護・医療・福祉分野	32	450	26	361	327	90.6%	280	77.6%	58.5%	90.9%
農業分野	5	60	5	60	71	118.3%	54	90.0%	100.0%	48.4%
旅行・観光分野	1	25	1	25	17	68.0%	17	68.0%	68.0%	84.6%
デザイン分野	10	250	11	275	371	134.9%	274	99.6%	98.6%	73.1%
建設関連分野	2	17	2	17	17	100.0%	16	94.1%	77.8%	83.3%
理容・美容関連分野	2	8	1	4	7	175.0%	7	175.0%	80.0%	100.0%
その他分野	19	365	18	345	459	133.0%	329	95.4%	88.6%	64.2%
合計	163	3,550	149	3,292	3,309	100.5%	2,664	80.9%	79.1%	78.9%

・今年度（R6.12月まで）の合計の応募者数は3,309人となっており、昨年度（R5.12月まで）と比べ134人増となった。受講者数は、今年度2,664人となっており、昨年度と比べ167人増となった。

・営業・販売・事務分野で応募者数、受講者数ともに昨年度から減となったが、それ以外の分野では応募者数、受講者数ともに昨年度から増となった。

・IT分野の今年度の応募者数は317人となっており、昨年度と比べ141人増であるが、開講定員数が昨年度より増加したため、応募率は91.9%となっており、昨年度と比べ21.6ポイント減となった。受講者数も今年度286人となっており、昨年度と比べ148人増であるが、充足率は82.9%となっており、昨年度と比べ6.1ポイント減となった。

・昨年度の就職率は、前年度から2.0ポイント減の78.9%で、目標の81%を2.1ポイント下回った。



## 4 障害者職業能力開発校における職業訓練

### (3) 障害者職業能力開発校における施設内訓練

障がい（身体・視覚・精神・知的障がい等）のある方を対象に、職業に必要な知識・技能の習得、就職を支援。

【令和6年度実施状況（R6.4～12月）】（※R5年度充足率はR5.4～12月、就職率は、年度計）

（単位：人）

分野	計画コース数	計画定員数	開講コース数	開講定員数	応募者数	応募率	受講者数	充足率	R5 充足率	R5 就職率
IT分野	1	20	1	20	21	105.0%	9	45.0%	100.0%	81.8%
営業・販売・事務分野	2	50	2	50	33	66.0%	20	40.0%	56.0%	90.9%
製造分野	1	20	1	20	11	55.0%	8	40.0%	30.0%	100.0%
その他分野	3	55	3	55	23	41.8%	15	27.3%	43.6%	84.2%
合 計	7	145	7	145	88	60.7%	52	35.9%	53.8%	87.7%

- ・今年度（R6.12月まで）の合計の応募者数は88人となっており、昨年度（R5.12月まで）と比べ18人減となった。受講者数は、今年度52人となっており、昨年度と比べ26人減となった。
- ・IT分野、営業・販売・事務分野、その他分野で応募者数、受講者数ともに昨年度から減となり、製造分野では応募者数、受講者数ともに昨年度から増となった。
- ・IT分野の今年度の応募者数は21人となっており、昨年度と比べ6人減、応募率は105.0%となっており、昨年度と比べ30ポイント減となった。受講者数は今年度9人となっており、昨年度と比べ11人減、充足率は今年度45.0%となっており、昨年度と比べ55ポイント減となった。
- ・その他分野の今年度の応募者数は23人となっており、昨年度と比べ11人減、応募率が41.8%となっており、昨年度と比べ20ポイント減となった。受講者数は今年度15人となっており、昨年度と比べ9人減、充足率は27.3%となっており、昨年度と比べ16.3ポイント減となった。
- ・昨年度の就職率は、前年度から3.5ポイント増の87.7%で、目標の73%を14.7ポイント上回った。

## 4 障害者職業能力開発校における職業訓練



### (4) 障害者職業能力開発校における委託訓練

離転職者等に対する職業訓練を迅速かつ効果的に行うため、主として知識を習得するために行われるものについて、民間教育訓練機関等に委託して実施。

【令和6年度実施状況（R6.4～12月）】（※5年度は充足率はR5.4～12月、就職率は年度計）

（単位：人）

分野	計画コース数	計画定員数	開講コース数	開講定員数	応募者数	応募率	受講者数	充足率	R5 充足率	R5 就職率
IT分野	0	0	0	0	0	-	0	-	-	-
営業・販売・事務分野	42	114	11	55	49	89.1%	42	76.4%	78.7%	49.1%
合計	42	114	11	55	49	89.1%	42	76.4%	78.7%	49.1%

- ・今年度（R6.12月まで）の合計の応募者数は49人となっており、昨年度（R5.12月まで）と比べ25人減となった。受講者数は、今年度42人となっており、昨年度と比べ17人減となった。
- ・IT分野の今年度の応募者数はなく、営業・販売・事務分野の今年度の応募者数は49人となっており、昨年度と比べ25人減、応募率は89.1%となっており、昨年度と比べ9.6ポイント減となった。受講者数は今年度42人となっており、昨年度と比べ17人減、充足率は今年度76.4%となっており、昨年度と比べ2.3ポイント減となった。
- ・昨年度の就職率は、前年度から5.4ポイント減の49.1%で、目標の60%を10.9ポイント下回った。

### (5) 精神障がい者の受入体制

精神障がいや発達障がいのある訓練生に配慮した訓練を実施する必要があることから、精神保健福祉士（PSW）を2名配置。

#### 【内容】

- ・訓練の様子を観察、訓練性との面談。個々の訓練生の障がい特性を把握。
- ・指導員からの相談対応、指導・助言。
- ・医療機関への同行、家族との面談。出身校や他の行政機関等との連絡。
- ・企業面接への同行、企業への説明。

相談実績 ※その他は、障害者就業・生活支援センター等

（R6は、R7.1月末時点）

年度	相談件数	相談者の内訳		
		訓練生	指導員	その他※
R4	438件	141件	291件	6件
R5	446件	196件	203件	47件
R6	459件	80件	230件	149件

## 5 在職者向け訓練



### (1) 高等技術専門校における在職者訓練

- ・ これまでは、年度当初に年間訓練計画を決定し、年度途中での特段の見直しは行っていなかった。
- ・ 今年度から、訓練計画を前期分（4～9月）と後期分（10～3月）に分け、年度途中において、様々な企業の声を反映した訓練が実施できるように改善。
- ・ その結果、今年度（R7.1月末まで）の実績は、昨年度と比べコース数が23コース増、受講者数は73人増となった。（表1、2）
- ・ なお、障害者職業能力開発校における在職者向け訓練については、次年度から、表計算初級コース、表計算中級コースを実施予定。

表1 在職者訓練の実施状況

年度	コース数	受講者数
R4	10	22
R5	12	18
R6	前期	39
	後期	52

表2 R6年度 各校の主な実施コース

校名	主なコース名／訓練期間
福岡	3次元CAD(SolidWorks)基礎コース(5日)、機械検査技術(2日)、シーケンス回路コース(2日)、溶接技能者評価試験対策コース(半自動溶接)(4日)
戸畑	溶接技能者評価試験対策コース(半自動溶接)(2日)、溶接技能者評価試験対策コース(TIG溶接)(6日)、フライス盤作業(12日)、普通旋盤作業(基本・技能向上コース)(8日)
小竹	2次元CAD(AutoCAD)基礎コース(3日)、NC旋盤プログラミングコース(6日)、普通旋盤作業(技能向上コース)(6日)、エアースプレーガン操作コース(9日)
久留米	マシニングセンタ作業(2日)、フライス盤作業(2日)、普通旋盤作業(基本作業・技能向上コース)(3日)
大牟田	溶接基本習得コース(4日)、溶接技能者評価試験対策コース(5日)、第二種電気工事士技能試験対策コース(3日)
田川	エクステリア設計専用CADコース(5日)、家具手加工(基礎)コース(2日)
小倉	外構CAD基本操作コース(5日)、表計算基礎習得コース(15日)

### (2) 認定職業訓練

- ・ 企業等が在職者に対し実施する職業訓練について、国の基準に適合するものを県が認定し、企業等の人材育成を促進するもの。

本県の認定状況（R7.2月現在）

	普通課程 (1年以上)	短期課程 (12時間以上6ヵ月未満)
実施団体	4	24
訓練科目	畳科、築炉科、配管科、建築板金科	パソコン関連、美容、労働安全衛生関係の各種技能講習等



畳科



築炉科



配管科



建築板金科

- ・ 今年度は、短期課程の職業訓練を実施する事業所を1件認定。

## 6 技能の振興



技能労働者の社会的評価の向上や熟練技能者の技能の承継を図るとともに、若年者が進んで技能労働者を目指すような環境を整備するなど、技能を振興し技能が尊重される社会づくりを推進。

### (1) 技能検定の実施

働く人の技能を一定の基準によって検定し、公証する国家検定制度（技能検定）を実施。本県では受検者ニーズ等を踏まえ、82職種を公示。また、外国人技能実習生を対象とした技能検定を実施。

【技能検定（外国人技能実習生除く）の実績】

(単位：人)

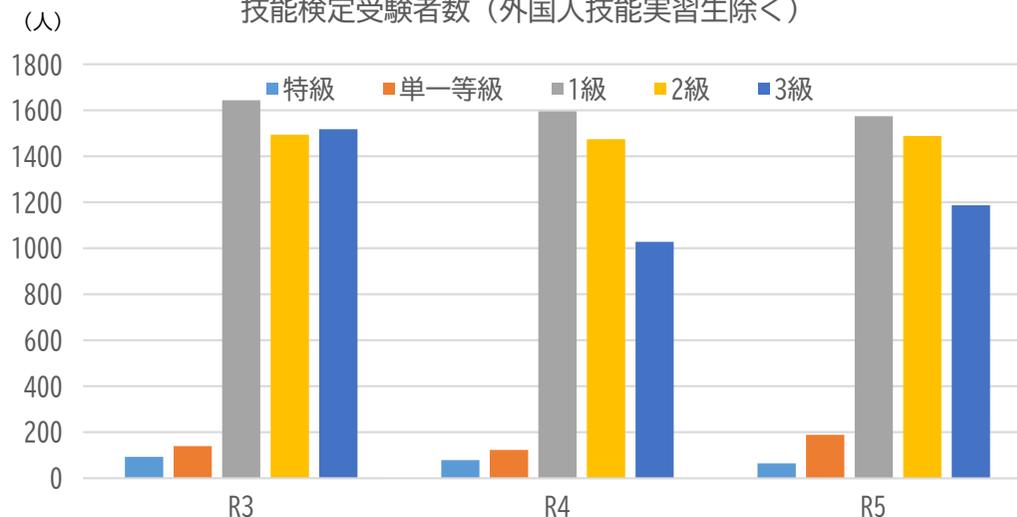
年度	特級	単一等級	1級	2級	3級	合計
	上：合格者数	上：合格者数	上：合格者数	上：合格者数	上：合格者数	上：合格者数
	下：受験者数	下：受験者数	下：受験者数	下：受験者数	下：受験者数	下：受験者数
R3	47	88	777	691	970	2,573
	93	140	1,644	1,494	1,518	4,889
R4	38	71	745	704	699	2,257
	79	123	1,596	1,475	1,028	4,301
R5	26	106	712	715	762	2,321
	65	189	1,575	1,489	1,188	4,506

【技能検定（外国人技能実習生のみ）の実績】

(単位：人)

年度	基礎級	3級	2級	合計
	上：合格者数	上：合格者数	上：合格者数	上：合格者数
	下：受験者数	下：受験者数	下：受験者数	下：受験者数
R3	871	633	4	1,508
	907	2,560	324	3,791
R4	1,753	541	10	2,304
	1,820	1,765	410	3,995
R5	2,983	235	29	3,247
	3,078	725	765	4,568

技能検定受験者数（外国人技能実習生除く）



- ・技能検定の職種は、都道府県や民間の指定試験機関で132職種が実施されている。
- ・県内の技能検定合格者は、令和5年度までに約12万3千人余となっており、「技能士」としての確かな技能が各職場において高く評価されている。
- ・外国人技能実習制度における技能検定については、現在、2級、3級及び基礎級を随時実施している。県内の令和5年度の合格者数を国別で見ると、多い順にベトナム、インドネシア、ミャンマーとなっている。



## (2) ものづくり技能継承事業

11月の人材開発促進月間に合わせて、福岡県職業能力開発功労者表彰式を開催し、県内の優秀技能者をはじめ、職業能力開発の推進に功績があった方に対し県知事表彰を授与。

【知事表彰の種類と受賞者数】

(単位：人)

表彰の種類	表彰概要	R4	R5	R6
(1) 優秀技能者	同一業務に20年以上従事、卓越した技能を持つ者	18	16	26
(2) 優良技能者	同一業務に30年以上従事、50歳以上、人材育成に尽力	2	2	1
(3) 認定職業訓練関係優良事業所・団体	認定訓練の振興に寄与	0	0	0
(4) 認定職業訓練関係功労者	50歳以上10年以上の訓練歴 50歳未満15年以上の訓練歴	3	3	3



福岡県職業能力開発功労者表彰式



匠の技展

【知事表彰の種類と受賞者数】

(単位：人)

	R4		R5		R6	
	参加者	入賞者	参加者	入賞者	参加者	入賞者
若年者ものづくり競技大会	8	3	8	2	11	3
	5職種	敢闘賞:3	5職種	銀賞:1 敢闘賞:1	7職種	銀賞:2 敢闘賞:1
技能五輪全国大会	19	6	21	4	25	4
	11職種	金賞:1 銀賞:1 銅賞:3 敢闘賞:1	12職種	金賞:1 銀賞:1 銅賞:1 敢闘賞:1	11職種	金賞:1 銅賞:1 敢闘賞:2
全国障害者競技大会 (アビリンピック)	9	3	8	2	7	2
	9種目	金賞:1 銅賞:1 敢闘賞:1	8種目	銀賞:1 銅賞:1	7種目	金賞:1 銀賞:1
技能グランプリ			24	8		
			18種目	銀賞:4 銅賞:2 敢闘賞:2		



技能五輪及びアビリンピック全国大会入賞者の知事への入賞報告

- ・福岡県職業能力開発功労者表彰式の開催に併せ、福技連マイスター会による匠の技展を会場内で開催。
- ・若年者ものづくり競技大会  
R6. 7. 31～8. 1 (群馬県、栃木県)
- ・技能五輪全国大会  
R6. 11. 22～11. 25 (愛知県)
- ・全国障害者技能競技大会 (アビリンピック)  
R6. 11. 22～11. 24 (愛知県)

# 大牟田高等技術専門校の建替えについて





## 1 経緯等

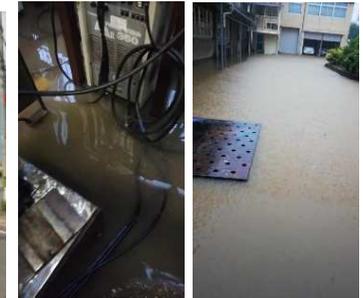
大牟田高等技術専門校は、築50年以上が経過し老朽化が進むとともに、令和2年7月豪雨では浸水被害が発生したことから、安心して職業訓練が受けられるよう施設の移転・建替えを行うもの。

- 令和4年度 大牟田高等技術専門校建替え検討委員会を設置し「基本計画」作成。  
福岡県職業能力開発審議会に「同計画」報告。
- 令和5年度 基本設計作成。
- 令和6年度 実施設計作成。
- 令和7,8年度 建設工事。(予定)
- 令和9年度 新校舎にて訓練開始。(予定)

実習棟



R2.7月浸水被害(実習棟)



## 2 施設整備の方針

- (1) 訓練生のための施設であること
  - ・障がいのある人などあらゆる訓練生が受講しやすい施設
  - ・安全面や防災面に配慮した安心して受講できる施設
- (2) 経済性、環境面に優れた施設であること
  - ・建設時や維持管理において経済的な施設
  - ・環境に配慮した施設(省エネルギー化や県産木材の有効活用等)
- (3) 地域に親しまれる施設であること
  - ・近隣の生活環境に配慮した施設(訓練による騒音や振動等の対策)
  - ・地域との交流を考慮した施設(情報発信スペースの設置、講堂の貸出等)

移転先  
旧上官小跡地

移転先周辺概況



## 3 施設整備の概要

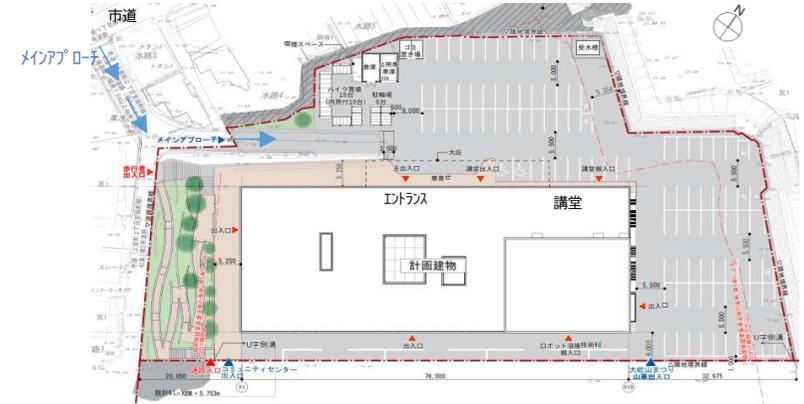
住 所：大牟田市宮坂町6番地4(旧上官小学校跡地)  
敷地面積：8,255.63㎡  
延床面積：6,271.79㎡(付属施設145.99㎡含む)  
構 造：鉄筋コンクリート造(地上3階)  
定 員 等：130名(5訓練科)

階数	床面積	主な諸室
1階	2,351.86㎡	事務室、応接室、会議室、保健室、視聴覚室、講堂、 ロボット溶接技術科(実習場)、就職情報室、就職相談室
2階	1,442.66㎡	プログラム設計科(教室、実習室、設計実習室)、OA事務科(教室、 実習室)、ロボット溶接技術科(教室)、就職相談室
3階	2,331.28㎡	介護サービス科(教室、実習室)、電気設備科(教室、実習室)、就 職相談室



## 4 配置計画

- ・ 北側を主出入口とし建物を敷地中央に配置。東側に駐車場を設け、駐車台数の確保と歩行者との交差のない安全な駐車場計画とする。
- ・ 西側には、歩行者、車いす使用者の安全なアプローチのための階段とスロープを設置。
- ・ 講堂は専用出入口を設け、市の指定避難所とするほか、休日に地域開放しやすい計画とする。



## 5 完成予想図

全体パース



外観パース



エントランス



講堂



# 高等技術専門校（技専校）の稼働率向上に向けて





## 1 経緯

昨年度（R5年度）の当審議会において、委員の皆様から技専校の認知度や稼働率を向上させるためのアイデアやご意見をいただきました。

### <主な意見>

- ・若者はタイパ重視。ショート動画をいくつか並べてみてはどうか。現在のHPは硬い印象を受けるため、もっとラフで良いのではないかな。
- ・Web広告の活用が有効。アクセスのデータをとって効果的に発信すればどうか。
- ・在職者向け訓練を実施するにあたっては、スポット的な短時間訓練の方が気軽に利用できて良いのではないかな。
- ・宿泊付きの訓練施設なら、離職者でも安心して訓練し再就職へという流れができる。
- ・「技専校」という名称は硬い。カタカナで「ハロー何々」と付けても良いのでは。
- ・技能五輪での上位入賞を目指して、若手技能者を育成することは必要。
- ・地域の学校と連携して、オープンキャンパスをキャリア教育の一環として開催するのはどうか。

## 2 取組内容（上記意見を踏まえた取組み）

### (1) SNSの情報発信

	取組内容	取組結果・課題
YouTube	・ショート動画を中心に作成し、サムネイルも工夫 ・アカウントを一元化	・再生数1万回超の動画も ・チャンネル登録者数の確保が課題（現在475人）
Instagram	・各校のPR動画の掲載を充実	・各校のPR動画は平均再生数1,000回超え ・フォロワー数確保が課題（現在140）
X	・県公式アカウント（フォロワー数5.1万人）に投稿した内容を当アカウントでリポスト	・投稿内容の表示回数が約10倍に増加 ・フォロワー数の確保が課題（現在27）

<Webサイトに各校紹介用ショートver.動画を埋め込み>



<画像やフォントなどサムネイル（見本用画像）を工夫>



【田川高等技術専門校】エクステリア左官...  
1.1万回視聴

### (2) Webサイト（福岡県の職業訓練）のアクセス分析（R6.10~12月）

項目	主な内容等		
	モバイル(66.7%)	PC(31.7%)	タブレット等(1.6%)
アクセスデバイス	モバイル(66.7%)	PC(31.7%)	タブレット等(1.6%)
アクセスユーザー数（ページ別）	入校試験サンプル問題 (6,994)	技専校について (6,095)	募集情報 (4,691)
アクセスユーザー数（市町村別）	福岡市 (6,156)	北九州市 (2,152)	大阪市 (1,679)

### <分析結果>

- ・ **サンプル問題**の掲載により、「入校選考への不安が解消された」との声があり、効果的な情報発信が必要。
- ・ **県外からのアクセス**も多いことから、オンラインオープンキャンパスの積極的な実施など、**県外居住者向け**の情報発信を充実させる必要がある。



## (2) 在職者訓練の強化（資料1「職業能力開発の推進について P10」再掲）

- ・R6年度は、求職者に加え在職者向け訓練を大幅に強化し、県内企業の人材育成支援及び労働者のスキルアップを積極的に支援。
- ・R6年度実績は、R5年度と比べ、コース数は23コース増、受講者は73名増となった。

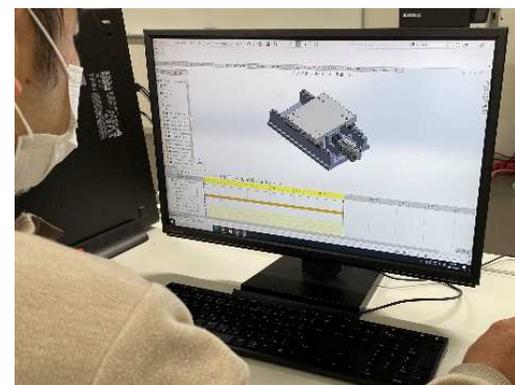
<在職者向け訓練のパンフレットを作成し、Webサイトへの掲載のほか、企業や業界団体へ送付>

<在職者向け訓練コース>

令和6年度(2期:10月~3月)  
**受託生訓練**

福岡県立高等技術専門校  
福岡市東区 支庁中央公民館101号

<p><b>10 NC 旋削プログラムコース</b></p> <p>福岡高等技術専門校(アプラエンジニアリング校)</p> <p>令和6年10月~令和7年2月(4日曜) 9:00~16:00</p> <p>受講者数: 5名</p> <p>受講条件: NCプログラムを初めて習得する方 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>	<p><b>16 溶接技能者評価試験対策コース(手動溶接)</b></p> <p>福岡高等技術専門校(ロボット溶接技術科)</p> <p>令和6年11月中旬(2日曜) 9:00~16:00</p> <p>受講者数: 5名</p> <p>受講条件: アーク溶接特別教育修了証免許を取得された方 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>	<p><b>18 溶接技能者評価試験対策コース(半自動溶接)</b></p> <p>福岡高等技術専門校(ロボット溶接技術科)</p> <p>令和6年11月中旬(2日曜) 9:00~16:00</p> <p>受講者数: 5名</p> <p>受講条件: アーク溶接特別教育修了証免許を取得された方 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>	<p><b>19 木工講師の基礎コース</b></p> <p>小倉高等技術専門校(デザイン・造形科)</p> <p>令和6年10月11日(日曜) 8:40~15:55</p> <p>受講者数: 5名</p> <p>受講条件: ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>
<p><b>11 マシニングセンタープログラムコース</b></p> <p>福岡高等技術専門校(アプラエンジニアリング校)</p> <p>令和6年10月~令和7年2月(4日曜) 9:00~16:00</p> <p>受講者数: 5名</p> <p>受講条件: NCプログラムを初めて習得する方 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>	<p><b>17 溶接技能者評価試験対策コース(被覆アーク溶接)</b></p> <p>小倉高等技術専門校(アプラエンジニアリング校)</p> <p>令和6年11月~令和7年2月(5日曜) 13:15~15:55</p> <p>受講者数: 2名</p> <p>受講条件: アーク溶接特別教育修了証免許を取得されている方 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>	<p><b>41 アバクル CAD 基本操作法コース</b></p> <p>小倉高等技術専門校(アバクルサービス科)</p> <p>令和6年11月上旬(日曜) 9:00~16:00</p> <p>受講者数: 2名</p> <p>受講条件: パソコンが新知識を有する方またはパソコンが基礎知識を有する方 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>	<p><b>42 表計算応用習得コース</b></p> <p>小倉高等技術専門校(OA事務科)</p> <p>令和6年11月25日~12月13日(16日曜/土曜) 13:15~15:45</p> <p>受講者数: 8名</p> <p>受講条件: コピー・ペースト・印刷・コピー機能の活用 ※未経験から入校3年未満の方 ※卒業生は対象外です</p> <p>受講料: 10万円(2学期)</p>



3次元CAD基礎コース



溶接技能者評価試験対策コース  
(半自動溶接)

## (3) 愛称募集について

- ・大牟田校の新校舎完成（令和9年度）を契機とした認知度向上及び地域に親しまれる施設を目指す。
- ・愛称は、広く一般から公募することとし、集約後は当審議会での意見を踏まえ決定したい。

### <スケジュール>

- 令和7年度 募集要項、募集チラシ作成
- 令和8年度 募集、集約、**当審議会**で議論、決定・公表
- 令和9年度 愛称を活用した広報開始



### ※参考 他県の状況

県名	愛称	選定期時	選定方法	効果等
秋田県	テクノスクール	H8	不明	・在校生は「テクノ」と呼んでおり愛称が浸透
千葉県	ちばテク	H28	関係者公募	・高校の進路指導教諭から「ちばテク」と呼ばれており、ある程度浸透
滋賀県	テクノカレッジ	H21	一般公募	・正式名称よりも愛称の方が認知度が高い
岡山県	ハレテク	H20	一般公募	・入校案内等でより積極的な愛称利用が必要と感じる
香川県	さんテク	R6	一般公募	・応募数296作品。「さん」は①讃岐の「讃」、②「技能、知識、開発」の3つ、③太陽がさんさんと降る注ぐイメージ

# 第11次福岡県職業能力開発計画の実施状況について





## 第11次福岡県職業能力開発計画

- 計画の位置付け：県内の職業能力開発に関する基本的な方向性を示すものとして職業能力開発促進法に基づき策定。
- 計 画 期 間：令和4年度から令和8年度までの5年間

### 1 産業界や地域のニーズを踏まえた人材育成の推進

- DX人材の育成
  - ・ 技専校におけるプログラム設計技術やドローンによる外壁診断技術等の訓練を実施。
  - ・ 委託訓練におけるWebデザインやアプリ開発等IT技術の訓練を実施。
- 成長産業分野等の人材育成
  - ・ 委託訓練を活用した風力発電メンテナンス技術者の育成。
  - ・ 技専校における半導体企業等へのオーダーメイド訓練の実施や半導体リスキリングセンターにおける半導体人材の育成。
- 人手不足分野の人材育成の強化
  - ・ 技専校における介護分野の資格取得を目指す訓練のほか、委託訓練における介護、保育分野の訓練を実施。

### 3 技専校及び障害者職業能力開発校の職業能力開発の充実・強化

- 多様なニーズに対応した訓練の実施
  - ・ 精神障がいやその疑いのある訓練生に適切に対応するため、精神保健福祉士を配置し相談体制を充実。
  - ・ 非正規雇用者等が安定した雇用環境へ転換できるよう国家資格等を習得できる訓練を実施。
- 訓練指導体制の充実
  - ・ 職業訓練指導員の指導技術の向上のため、職業能力開発大学校等の研修を受講。
  - ・ 就職支援を強化するため、技専校内で合同企業説明会を実施。（R6：7回実施）

### 2 誰もが活躍できる社会の実現に向けた職業能力開発の推進

- 若年者や高齢者に対する支援
  - ・ 技専校において新卒者を含めた若年者に対する職業訓練を実施。（R6：29歳以下入校者数 282名（入校者全体の54.5%））
  - ・ 技専校や委託訓練において、高齢者を受け入れた訓練を実施。（R6：65歳以上入校者数 技専校23名、委託訓練79名）
- 女性やひとり親に対する支援
  - ・ 技専校や委託訓練において、託児サービス付の訓練を実施。（R6：託児利用者数 技専校1名、委託訓練5名）

### 4 次世代への技能の継承と技能の振興

- 技能の魅力発信や次世代への技能の継承
  - ・ ものづくり技能フェスティバルや匠の技フェアの開催。
  - ・ 技能者の技術水準や社会的評価の向上を高めるため、技能検定の試験を実施及び普及。
  - ・ 技能検定以外の職種について、企業等が独自に実施する社内検定を県が認定する福岡県技能評価認定制度の普及。

## 成果指標

基本施策	指標	現状	目標	基本施策	指標	現状	目標
1, 2, 3	高等技術専門学校就職率	86.3%	91%（毎年度目標）	1, 3	デジタル人材育成数（県が実施する公共訓練での修了者数）	915人（R4～R5）	3,000人（R4～R8累計）
1, 2, 3	委託訓練就職率	72.5%	81%（毎年度目標）	3	Webサイトセッション数	21万	36万（毎年度目標）
1, 2, 3	福岡障害者職業能力開発校就職率	87.7%	73%（毎年度目標）	4	技能検定受検申請者数	4,506人	5,300人（R8）
1, 2, 3	委託訓練（障がい者）就職率	49.1%	60%（毎年度目標）				

# 職業能力開発施策の課題について





## 企業、労働者のリスキリングについて

### 現状と課題

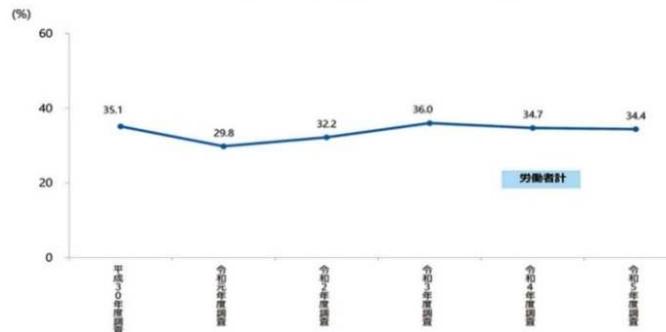
- 人口減少による労働供給制約やDX・GXの進展、職業人生の長期化など、社会経済環境が大きく変化してきているなかで、企業と労働者個人の継続的な成長のために、一人ひとりが新たなスキルや知識を身につけていくことが重要となってきた。
- 国も様々な取り組みにより、リスキリングによる能力向上支援を進めている。
  - ・教育訓練給付制度・・・厚生労働大臣の指定する講座を受講・修了した場合に、その費用の一部を給付（20～80%（10～64万円以内））
  - ・人材開発支援助成金・・・事業主が雇用する労働者（雇用保険被保険者）に訓練を実施した場合に訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成
  - ・キャリア形成・リスキリング支援センターを都道府県に設置し、従業員や企業に対しキャリア形成と能力開発の課題解決のサポートを実施。（厚生労働省）
  - ・補助事業者（民間事業者）がキャリア相談、リスキリング講座、転職支援を実施。個人が受講終了した場合に受講料の1/2を助成、転職した場合1/5追加助成。（経済産業省）
- 本県も今年度から、非正規雇用労働者がIT関連の職業訓練を受講し、正規雇用化した場合、受講料を助成する事業を実施している。しかしながら、正規雇用化に関する相談がないため、次年度に向けた事業の見直しを検討しているところである。

図1 企業によるOFF-JT・自己啓発の推進に支出した費用の労働者一人当たり平均額



(注) 本項目は平成19年度からの調査となっているため、同年度からの結果を掲載している。3年移動平均は、当該年度とその前年・翌年の平均値。  
 (出所) 厚生労働省「平成19年度～令和5年度能力開発基本調査（企業調査）」

図2 労働者の自己啓発実施割合の推移



(注1) 各調査年度の前年度～前年に行った自己啓発について調査したもの。  
 当該調査における「自己啓発」は、労働者が職業生活を継続するために行う、職業に関する能力を自発的に開発し、向上させるための活動をいう。  
 (職業に関係ない趣味、娯楽、スポーツ健康増進等のためのものは含まない。)  
 (注2) 平成29年度調査以前は「労働者計」の数値は集計していない。  
 (出所) 厚生労働省「平成30年度～令和5年度能力開発基本調査（個人調査）」

「リスキリング」とは  
 新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大幅な変化に適應するために、必要なスキルを獲得する（させること）。（経済産業省）

### ご議論いただきたい事項

- 企業や労働者がリスキリングを行うにあたりどのような課題がありますか。
- 行政に求める支援はありますか。
  - (例) ・リスキリングに充てる費用や時間的余裕がない
  - ・リスキリングの必要性についての理解や認識が不十分
  - ・リスキリングに対応できる人材がいない

など、皆様の様々なご意見をお願いいたします。